

政策評価の概要

令和元年度に策定した宮崎県総合計画『未来みやざき創造プラン（アクションプラン）』に掲げる重点施策である「新しい『ゆたかさ』前進プログラム」について、次の観点から、令和元～4年度取組の評価を実施する。

- ✓ 数値目標とその達成状況を外部の視点を踏まえ客観的に評価するとともに、県民にわかりやすく示す。
- ✓ プログラムごとの課題を明らかにし、後年度の施策や施策への反映を通じて、改善につなげる。

アクションプランの構成

プログラム1 人口問題対応プログラム

重点項目

1. 社会減の抑制と移住・U I J ターンの促進
2. 産学官労官言の連携による地域や産業を支える人財の育成・確保
3. 地域の暮らしの確保や中山間地域の振興
4. 本県の未来を担う子どもたちの育成
5. 合計特殊出生率の向上に向けた環境づくり

プログラム2 産業成長・経済活性化プログラム

重点項目

1. 本県経済をけん引する成長産業の育成と新産業の創出
2. 本県の基幹産業である農林水産業の成長産業化
3. 地域経済を支える企業・産業の育成
4. 資源・エネルギーの循環促進と低炭素社会の実現に向けた取組
5. 交通・物流ネットワークの整備と効率化の推進

プログラム3 観光・スポーツ・文化振興プログラム

重点項目

1. 魅力ある観光地づくりと誘客強化
2. 「スポーツランドみやざき」の構築と県民のスポーツ活動・交流の促進
3. 文化資源を生かした地域活性化や県民の文化活動・交流の促進

プログラム4 生涯健康・活躍社会プログラム

重点項目

1. 地域における福祉・医療の充実と健康寿命の延伸
2. 生きる喜びを実感し、安心して暮らせる社会づくり
3. 一人ひとりが活躍できる多様性を持った社会づくり

プログラム5 危機管理強化プログラム

重点項目

1. ソフト・ハード両面からの防災・減災対策
2. 緊急輸送や救急医療の観点による社会資本整備と適正な維持管理
3. 人への感染症に対する感染予防・流行対策強化
4. 家畜伝染病に対する防疫体制の強化

内部評価の結果

指標ごとの達成状況

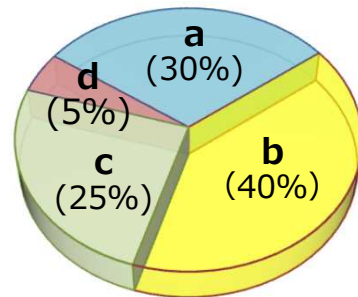
(※)括弧内は重点指標(内数)。1点未満の端数は切捨。

PG	設定指標	点数				
		3点 (100%以上)	2点 (50~99%)	1点 (0~49%)	0点 (0%未満)	未確定 など
1	47(4)	15(1)	12(1)	8(1)	11(1)	1(0)
2	48(4)	24(4)	7(0)	7(0)	8(0)	2(0)
3	24(5)	5(1)	3(1)	0(0)	14(3)	2(0)
4	27(4)	6(1)	9(2)	5(1)	5(0)	2(0)
5	20(3)	12(2)	5(0)	1(0)	2(1)	-
計	166(20)	62(9)	36(4)	21(2)	40(5)	7(0)

重点項目ごとの評価の状況

PG	点数	a (2.25~)	b (1.50~2.24)	c (0.75~1.49)	d (~0.74)	計
1			3	2		5
2		3	1	1		5
3			1	1	1	3
4			3			3
5		3		1		4
計		6	8	5	1	20

【評価ごとの構成割合】



【概要版】「新しい『ゆたかさ』前進プログラム」に係る政策評価について（その2）

前アクションプランにおける主な指標の達成状況

新たなアクションプランの構成

医療満足度
 (目標:50.0%)
 [H31.2] 43.3%
 [R5.2] 44.2%

**生活保護世帯の子どもの
高等学校等進学率**
 (目標:93.7%)
 [H30] 92.1%
 [R4] 87.4%

観光入込客数
 (目標:1,610万人回)
 [H29] 1,532万人回
 [R4] 1,263万人回

プログラム
1

コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生

1. 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実
2. 県民生活・地域経済の早期回復
3. 魅力あふれる「観光みやざき」の創生

高速道路整備率
 (目標:75%)
 [H30] 74%
 [R4] 80%

**宮崎空港発着
航空路線の利用者数**
 (目標:350万人)
 [H30] 333万人
 [R4] 253万人

県内防災士数
 (目標:6,475人)
 [H30] 4,766人
 [R4] 6,674人

プログラム
2

希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり

1. 希望ある未来への挑戦
2. 交通・物流ネットワークの維持・充実
3. 命や暮らしを守る災害に強い県づくり

合計特殊出生率
 (目標:1.81)
 [H30] 1.72 (全国3位)
 [R4] 1.63 (全国2位)

**宮崎県は人権が尊重されている
と思う人の割合**
 (目標:50%)
 [H31.2] 45.6%
 [R5.2] 46.7%

**成人の週1回以上の
運動・スポーツの実施率**
 (目標:50%)
 [H31.2] 42.9%
 [R5.2] 50.6%

プログラム
3

「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍

1. 子どもを生み育てやすい県づくり
2. 未来を担う子どもたちの育成
3. 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり
4. 健康・学び・スポーツ・文化の充実

新規高卒者県内就職割合
 (目標:61%)
 [H30.3卒] 56.8%
 [R4.3卒] 62.5%

**自治体の施策を通じた
県外移住世帯数**
 (目標:2,700世帯)
 [H27~30] 1,567世帯
 [R元~4] 3,191世帯

**再生可能エネルギー
総出力電力**
 (目標:2,652,519kW)
 [H29] 2,107,301kW
 [R3] 2,696,755kW

プログラム
4

社会減ゼロへの挑戦

1. 若者・女性の県内就業・県内定着の促進
2. みやざき回帰・県外からの移住の促進
3. 安心して住み続けられる持続可能な地域づくり

**プロ人材と県内企業との
累計マッチング成約数**
 (目標:225件)
 [H27~30] 42件
 [H27~R4] 241件

輸出額
 (目標:2,077億円)
 [H29] 1,845億円
 [R3] 1,961億円

農業産出額
 (目標:3,373億円)
 [H30] 3,429億円
 [R3] 3,478億円

プログラム
5

力強い産業の創出・地域経済の活性化

1. 産業を支える多様な人材の確保・育成
2. 新産業の創出と地域経済の活性化
3. 稼げる農林水産業への成長促進

- まとめ**
- 『未来みやざき創造プラン』に基づき、人口減少問題への対応を中心に取り組んできた結果、移住世帯の増加や高校生の県内就職率の改善など、一定の成果が出ている一方で、子育て対策や産業人材の確保、必要なサービスの維持など重要課題への対応が急がれる。
 - このような中、少子高齢・人口減少の更なる進行に加え、デジタル化や世界的な脱炭素化の動きなど、予想を超えるスピードで社会が大きく変化しつつある。
 - このため、課題や今後の方向性を改めて整理し、令和5年6月に策定した新たな「アクションプラン」により、令和5年度から8年度までの4年間に重点的・優先的に取り組んでいく。